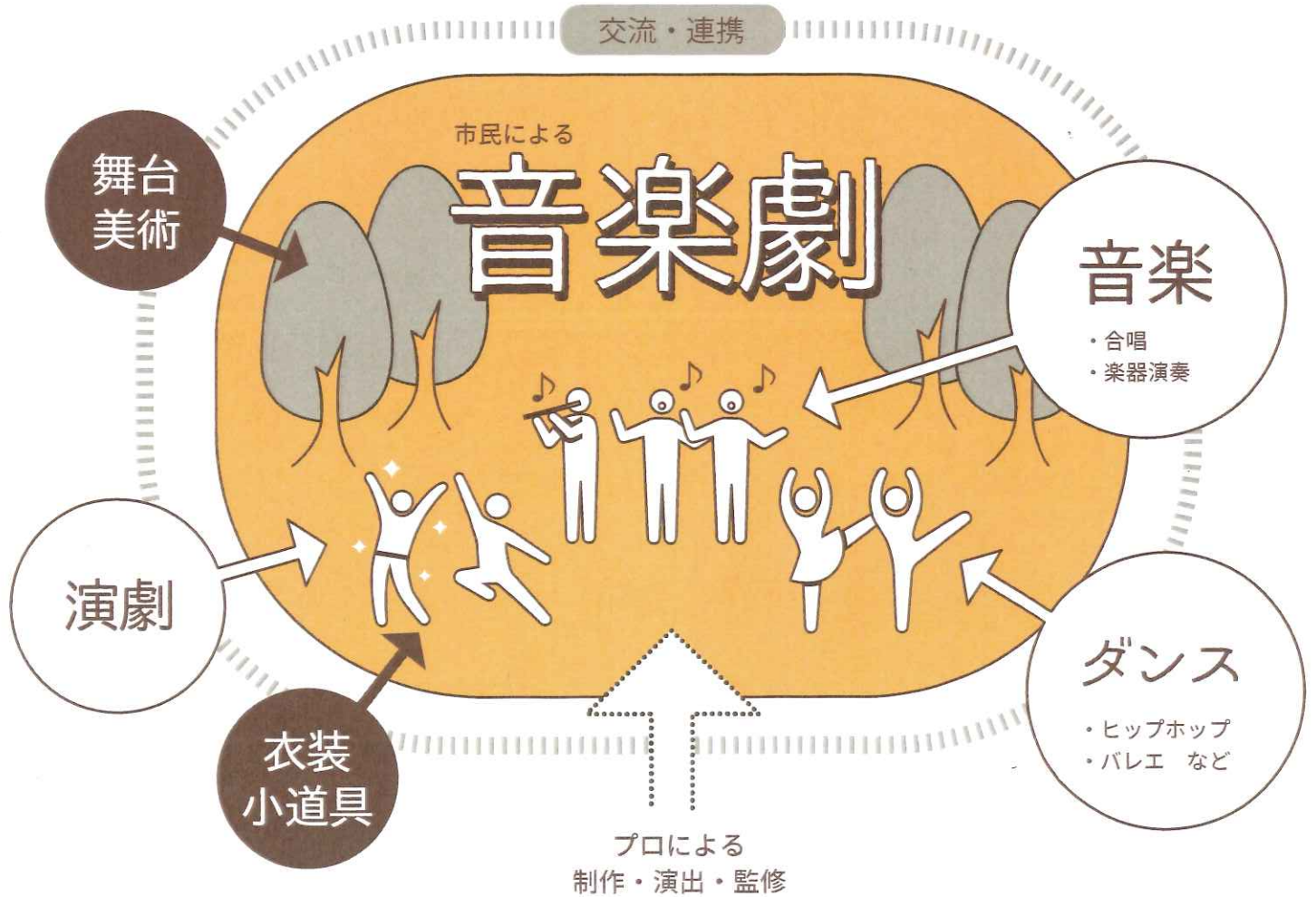


市民音楽劇プロジェクト

袋井市月見の里学遊館 20 周年記念

R3 年度で 20 周年を迎える月見の里学遊館にて、個々に活動している歌やダンス、演奏、演劇、映画などのグループを連携させ、交流や練習を行うことで、文化向上・地域活性につなげるプロジェクトです。その当面の目標が市民音楽劇『月見の里物語』の上演です。



『月見の里物語』

脚本あらすじ

『月見の里物語』

昔々、月見の里は自然豊かな里山でたくさんの動物たちが住んでいました。その森に飼い主を亡くした白うさぎが新しい居場所を求めてやってきました。共存する仲間に入るにあたって、森の動物たちに『何ができるか』と問われる白うさぎ。次々とできることを披露しますが、他の動物たちはかなわず、うなだれてしまいます。それでも、白うさぎは森にすむことを許されました。

さて、厳しい冬がやってきました。食料の取り合いで対立する動物たち。そこに人間の猟師の一団が近づいてきます。さて、森の動物たちはどのように自分の住処を守るのでしょうか？また、白うさぎは森の中で自分の居場所を見つけられるのでしょうか？多様性を認め合い、楽しく力強く生きる動物たちの様子を描いた物語です。

